



加藤院長と初めてお会いしたのは、12年前の博多で行われていた、メディカルショーでの出会いがきっかけでした。早速、城南区のご実家を教えて頂き、敷地形状や近隣医療機関の診療圏調査を矢継ぎ早に、且つ念入りに行わせて頂きました。

街中ゆえに敷地の形状が狭く複雑で、設計には試行錯誤し、何度も繰り返し図面を書き直しことを覚えています。開業前には、先生を半ば強引に近隣住民への挨拶回りに同行して頂き、二人で歩いたことが今でも昨日のことに思い起こされます。



チャンネル文字をあしらった斬新で
 トラディショナルなエントランス。
 外観の表情を彩る多彩なデザインで
 10年が経過した現在も、更に風格
 を増しています。



ご専門の循環器科をアピールする心臓を
 表すシンボルのハートマークと、かとう
 のイニシャルKとをみごとに融合させた
 斬新なロゴマーク。
 加藤院長による、地域医療への熱い気持
 ちが伝わってくるサイン計画です。



『色彩は薬よりも効能がある』とは至言。
ベースはナチュラルカラーを基調とし、
インテリアはウォームカラーとしました。



ピンクを基調とした落ち着いた処置室。
女性技師さんによる検査なので、患者様
も安心して受診できます。



胸部・腹部 X線一般撮影室。
空間構成を何度もシミュレーションし、
ご提案いたしました。